

来る10月17日 収穫祭を開催します！

3か月ぶりの柴北川プロジェクト通信です。収穫祭のための稲の生育状況の確認と「柴北川を愛する会」との合同会議を開催しました。

朝10時に建コンビル前に集合した共助研の参加者3名(木寺、前田、森脇)は、8人乗ワゴン車で、ゆったりとドライブの予定でしたが、太宰府ICの南の橋梁工事により大渋滞でした。あらかじめ情報を知っていた前田さんが都市高速を使わずに一般道で太宰府ICへ大分道を東進し、30分遅れで犬飼へ到着。13:00集合と知りつつ、いつもの「あすか」のだんご汁定食で腹ごしらえ。その後、稲の生育状況を確認し、会議場所の黒松生活改善センターで収穫祭に向けた合同会議を開催しました。

1. 松巖寺さくら公園前田んぼの生育状況レポート

6月19日に田植えをしてほぼ3カ月目の同じ土曜日、暑い天候のもと稲の生育状況の確認をしてきました。松巖寺裏山の濃い緑と稲穂の黄緑のコントラストが鮮やかでした。まだまだ秋は遠いよといわんばかりの元気な田園風景でした。遅れた福岡組を待つ間、共助研のみなさんは川に入って涼んでいました。

(参加者：大塚会長、渡邊事務局長、木寺さん、玉田さん、塚田ご夫妻、前田さん、矢ヶ部さん、森脇)

松巖寺に向かって左側にうるち米、右側にもち米が植えてありました。うるち米は良く実り今にも稲穂を垂れようとしていました。もち米はすこし時期が早いのかまだ青々して実の入りももう少しのようでした。稲刈りまであと1か月さらに大きく稲穂が垂れるのを期待して生育状況の確認を終えました。

合同会議の席上、田植え前からこの田んぼの面倒を見ていただいた安藤さんから一言いただきました。

「水の管理、草刈り、追肥が不十分なため稲の生育はあまり良くない。田植え前に元肥はやったが、本来なら7月頃に除草、8月に追肥をしなければ立派に育たない。今の時期には稗をとる必要がある。」お米を育てるのは大変なことをあらためて認識しました。みなさん稲生育を見守って頂いている安藤さんに感謝です。



稲の生育状況(写真の手前がうるち米、奥がもち米)



生育を見守るみなさん

2. 「柴北川を愛する会」との合同会議を開催

稲の生育状況の確認後、黒松生活改善センターに戻り14時から大塚会長ごあいさついただき合同会議を開始しました。今回の会議テーマは、①「稲刈り・収穫祭について」②「22年度の山桜調査・視点場整備・竹林対策等について」③「豊後大野市まちづくりチャレンジ事業について」④「その他として長谷小学校跡地活用についての最近の状況」について話し合いました。

●合同会議参加者

「柴北川を愛する会」

大塚会長、甲斐副会長、穴見会計役、渡邊事務局長、赤峰さん、安藤さん、樋口さん、三浦さん、以上8名

「共助研」

木寺さん、玉田さん、塚田ご夫妻、中川さん（夢アイデア）、前田さん、矢ヶ部さん、森脇以上8名
会議では次のように結果となりました。



合同会議の様子（壁面に移っているのがNAV I デモ）

①稲刈り・収穫祭について

- ・日時等・・・10月17日（日）10時稲刈りスタート（ただし、9時頃より共助研メンバーは、阿蘇神社の清掃へも協力）。小雨決行。午前中に稲刈りは終了予定。（大雨のときは刈った稲を天日干しするため濡れると乾くかなくなるため中止します。）
この日の稲刈はうるち米のみです。もち米はもう少し収穫まで時間がかかります。また、収穫した稲はすぐには食べられません。（後日もちつき大会開催？）
鎌は用意していただけるようです。
- ・終了後、体育館の移動し昼食を食べながら出し物を見学。
- ・出し物は、
 - 子供達の「第3回いい川・いい川づくりワークショップ大会（10月23・24日東京にて開催）」のリハーサル
 - 「思い出 NAVI」50枚程度の写真で良き昔を話し合う。
 - 「昔の遊びの紹介と一部みんなで実施（缶蹴り等が候補）」。
- ・午後の部は、3時間程度を予定
- ・柴北川を愛する会には、10月8日（金）までを締切に写真提供をお願いする（木寺さんまで、誰の物か分かるようにして郵送してもらい、スキャンして返却します。なお、小学校の記念誌の写真は前田さんの手元にあるのでそれを使用する。）
- ・また、共助研メンバーは、参加者予定者以外も「思い出 NAVI」用に「懐かしい写真」「思い出の写真」を、数枚提供する。（JPEG 歓迎、現物でも可、木寺さんまで、締切は同じです）。

②H22 年度の山桜調査・視点場整備・竹林対策等について

- ・山桜の追加調査は、主要部分のみ予定通り実施（20～30 本程度追加したい）。
- ・新規視点場整備については、成瀬谷地点の所有者にその可能性を渡邊さんに打診して頂く。その後、渡邊事務局長さんら早速次のような回答を頂きました。ありがとうございました。

「地主さんの了解が取れました。自由に使って良いそうです。今生い茂っている竹の伐採や除根等が大変と思いますが、良い視点場を作りたいですね。」

- ・松巖寺さくら公園（現視点場）の看板が色あせているので、矢ヶ部さんがリメイク検討。
- ・竹林対策は、葉散布も話題となったが、試験的に山桜周辺部分の伐採を中心に、柴北川を愛する会と協働で行う。ただし、伐採許可等は渡邊事務局長さんに調べてもらう。その後、渡邊事務局長さんら早速次のような回答を頂きました。ありがとうございました。

「阿蘇神社の神社林ですので問題はないと思います。正式に申し出はしていませんが、田圃担当の安藤さんが神社総代会の事務局長ですので、大丈夫と思います。」

③豊後大野市まちづくりチャレンジ事業について

- ・資金面、労力の面から「無理をしない範囲（現状やっていること中心）の内容」で応募する。
- ・渡邊事務局長さんに「叩き台」作成をお願いします。
- ・共助研は、渡邊さんへ協力できることがあれば可能な限り協力する。

④その他 長谷小学校跡地活用についての最近の状況

渡邊事務局長さんから長谷小学校跡地活用についての最近の状況についてのご報告がありました。学校活用のアンケート結果を市に要望しました。

- ・本館左は取り壊し跡地利用について検討を行う。
- ・コンピューター室はNPO事務所として払下げ。
- ・家庭科教室は施設をいかした利用を検討
- ・体育館は社会人スポーツ施設として残す。

条例を改正しないと使用できないため議会終了の27日以降回答待ちとのことでした。

1つの団体では管理が難しいため5～6団体で借りるようにしたい。



合同会議の様子

16時近くになり、「収穫祭」開催への期待に胸を膨らませながら、大塚会長のあいさつにより会議を終えました。

会議が終了すると今年もおいしくできていました。渡邊事務局長さんから1人一袋のカボスをいただきました。

<おいしいもの紹介シリーズ>

昨年もたくさんいただきおいしくいただきました。三浦さんのカボスの特徴は、とれたてということもあってとてもジューシー、切ると切り口が膨らみ果汁があふれてきます。また、種がありません。福岡市のとあるスーパーで買うと種がたくさん入っており絞りにくいです。

蛇足ですがカボスの香りは皮にあります。カボスを絞る際は皮を下にして絞ってください。



いただいた三浦さんのカボス



カボス切ると中はジューシー



皮を下にして絞ってください

1カ月後の収穫祭を期してカボスをしっかりカバンに入れ帰途に就く共助研メンバーを、まだ夏の日差しの中の緑の山桜が見送ってくれました。(彼岸花が見られなかったのは残念でした)

(文責：森脇)



緑の松巖寺桜